

はじめに

2016年4月の「Vision 2030」発表以降、サウジアラビアでは急速に改革が進んでいる。一方、日本においては現地での変化や改革の進捗状況についての情報は限定的であり、前向きな変化が伝わりにくいのではないかと感じている。本通信を通じて、肌で感じる現地の変化や、Vision 2030の進捗状況を中心に、現地の情報を発信していきたい。

Vision 2030

2016年4月、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子（当時副皇太子）が発表した長期国家戦略。「アラブとイスラム世界の中心」、「グローバルな投資大国」、「3大陸を結ぶ交通の拠点」を柱として、「活気ある社会」、「盛況な経済」、「野心的な国家」という3つのテーマに基づき、他分野にわたる計画・目標が掲げられている。

サウジアラビアへの入国

まずVision 2030の改革を大きく印象付けた変化として、空港における入国審査が挙げられる。以前は、サウジアラビアの入国審査といえば、数時間単位での時間を要し、担当官の対応も悪いというのが通説であり、東部州ダンマンの空港では、入国までに8時間半を要したという事例も聞かれるほどであった。しかし、Vision 2030発表以降、入国審査に掛かる時間は大幅に短縮され、民族衣装であるトーブを着たサウジ人男性やアバヤに身を包んだサウジ人女性が、丁寧に対応してくれる。早いときでは15分程度で入国できることもあり、また担当官が笑顔で「Welcome」と声をかけてくれることも頻繁に見受けられるようになった。かつての状況からは想像できないほど改善がなされており、サウジアラビアへの入口となる入国審査において、Vision 2030の改革の本気度、方向性を印象付ける象徴的な変化となった。

商用ビザの条件は大幅に改善。観光ビザの導入が期待される

サウジアラビアへの出張者が一般的に取得する商用ビザ（Commercial Visit VISA）は、2017年9月以降、日本国旅券の保有者に対しては3年間有効なマルチビザの発給が基本となり、継続的にサウジアラビアを訪問することが容易となった。取得料金についても、以前はシングルビザが約6万円であったが、変更後はマルチビザが約6千円と大幅に改善がなされている。

また、現地の報道によると、予てより導入が期待されている観光ビザの発表イベントが、今月27日に開催されると伝えられている。オンライン上の簡素な手続きでビザが発給されるe-VISAは、サウジ国内でのイベント参加を条件に2018年12月より運用が開始されてきたが、イベント参加を条件としない観光ビザの運用が開始されれば、観光需要の大幅な拡大に伴う関連産業の成長が期待されると共に、Vision 2030における大きな改革と言えるであろう。（2019年9月）

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Builg, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>